

カザフスタン

Akniel Pharmaceuticals LLP

～輸入・卸・小売・製造業(医薬・健康用品) / グループ親会社～

企業訪問調査レポート [3]

Europharma LLP (小売店)

Planta LLP (製造業)

■ カザフスタン共和国※ — 基礎データ —

- 面積: 272万 4,900平方キロメートル [日本の7倍]
- 人口: 1,716万人 (2014年1月1日現在)
- 首都: アスタナ / 人口約81万人
- 名目GDP: 2,319億ドル (2013年)
- 1人あたり名目GDP: 1万3,612ドル (2013年)
- 実質GDP成長率: 6.0% (2013年 カザフ国民経済省国家統計委員会)
- 為替レート: 1ドル ≒ 183.80 テンゲ (2015年1月16日)

出所: JETROホームページ 国・地域別情報(J-FILE)「カザフスタン概況(2015年1月更新)」

※1991年12月 国名を「カザフスタン共和国」に変更し、共和国独立宣言を行った。



■ 調査日: 2014年 11月17日

■ 分野: 輸入・卸・小売・製造業(医薬・健康用品)

■ 特徴: Akniel Pharmaceuticals LLPは輸入・卸売企業であり、傘下に薬局チェーン*1や健康食品企業*2を持つ医薬品の大手卸・小売、製造企業グループ。

*1: “Europharma LLP”・・・国内に広くドラッグストアチェーンを展開。

*2: “Planta LLP”・・・ハーブを原料としたサプリメントの他、130種以上の茶類、オート麦飲料、ミネラルウォーターなどを製造。

企業概要

- 社名: Akniel Pharmaceuticals LLP
- 住所: Shymkent-city, Baituly Baba, 12A (Akniel Pharmaceuticals本社)
- URL: <http://www.ak-niel.kz/> <https://europharma.kz/>
- 工場: Akniel Pharmaceuticalsのシムケント本社敷地内にPlanta LLPの工場がある。



■ 支店・販売網: [Akniel Pharmaceuticals LLP]

アスタナ、アクトベ、アルマトイ、オスケメン(東カザフスタン州)に支店がある。

医薬品等を輸入し、Europharmaの薬局チェーン、国営企業SK-Pharmacia Inc(入札)を通し、全国450カ所の病院、診療所などに卸売りをしている。

:[Europharma LLP]

国内15都市、150カ所に薬局を展開している。このうち14店舗はPharm-market(現代的なドラッグストア)で、他の136店舗は伝統的な薬局(Closed-type pharmacyとMini-stores)である。※p.2「Europharmaの店舗の種類」参照。

■ 設立年: 1996年、シムケント市に薬局1号店(closed-type pharmacy)を開店。その後、店舗を増やすと共に、2006年にEuropharmaを設立し、現代的なドラッグストアPharm-marketを開店して、現在に至る。

■ 従業員数: 合計およそ1,500人(グループ内全従業員数)

■ 社是: 各都市および各地域の医薬品流通網を整備し、合理的な価格と最高のサービスを追求することにより、国内医薬品市場の国際水準への発展と、国民にとって最も重要な健康増進に努める。

ビジネスの概要 ①

Europharma の店舗の種類

Europharma には以下の3種類の店舗がある。

● Pharm-market

現代的なドラッグストア(店舗スペースは100m²程度)。7,000~14,000種類もの商品を扱っており、従来の伝統的な薬局(後述参照)と異なり、広い売り場スペースで来店客が自由に商品を手に取り、効能や使用方法を確認できる新しい陳列方式をとっている。また、薬剤師等のアドバイス、簡単な医療サービスを受けることも出来る。



● Closed-type pharmacy ● Mini-stores

商品は鍵の掛かったガラスケースに陳列されており、注文に応じ店員が薬を出し販売する。

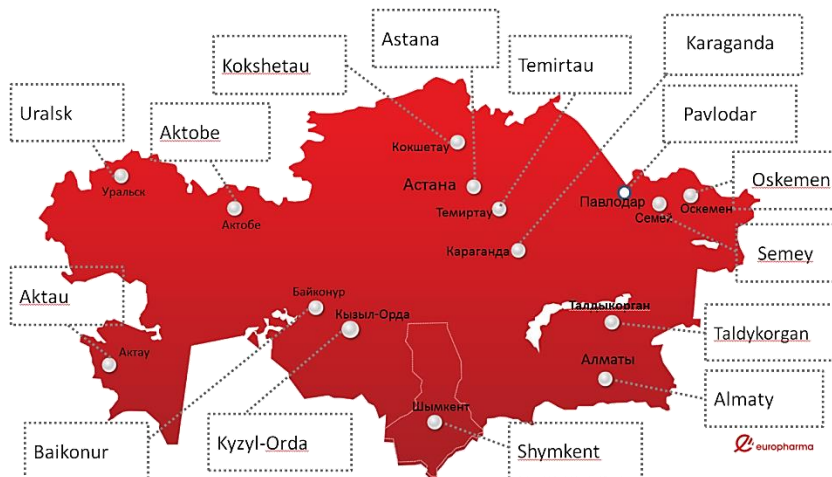
Closed-type : 店舗スペースは60m²程度、3,000~7,000種類の医薬品の取り扱い

Mini-stores : スペース30m²程度、3,000種類の医薬品の取り扱い



カザフスタンの薬局は今でもカウンターで店員に商品名を伝え、商品を買う薬局が主流だが、最近ではセルフサービス方式の薬局が出始めており、今後さらに増えることが想定される。Europharmaでは150店舗のうち現状14店舗しかないPharm-marketの増設を急いでいる。

【Europharma LLPの店舗設置都市】



JETRO

Copyright (C) 2015 JETRO. All rights reserved.

ビジネスの概要 ②

主な取り扱い商品

- 医薬品 (処方箋薬およびOTC医薬品)
- 衛生関連用品
- 化粧品
- ボディケア用品
- 健康食品 など

また、最近、浄水器やエクササイズ用品なども取り扱いを始めた。

主な取り扱いブランド

- Nycomed
- Sanofi Aventis
- Pfizer
- Bayer
- Novartis
- Berlin-Chemie Menarini
- Ipsen
- Actavis
- KRKA
- GSK
- EGIS
- VICHY
- AVENE
- Dr. Reddy's
- Boehringer Ingelhem

250以上のブランド(約200社)を輸入販売している。



PLANTAの製品

商品、サービス

商品戦略

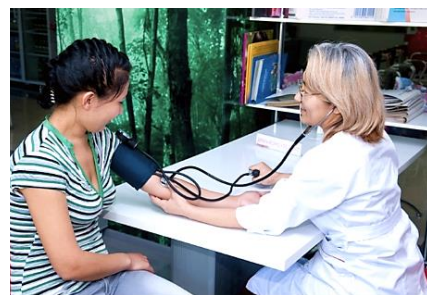
- 厳選された製品の輸入に努め、合成着色料や人工調味料を使用しないサプリメントと機能性食品の製造 (PLANTA)など、他社との差別化を図ることを基本理念としている。
- 医薬品以外に化粧品等を取り扱った結果、現在売り上げの30%を化粧品と子供用衛生用品が占めるに至っている。
- 夏は胃腸薬や抗アレルギー剤、冬は感冒薬といった季節ごとの仕入れ管理、薬局周辺の環境や顧客ニーズなど、本社が一括して営業戦略を立てている。
- IT管理により、頭痛薬や包帯、絆創膏など需要の多い商品の在庫切れを防いでいる。また各医薬品の有効期限や商品ごとの売り上げ、予算管理もIT処理を行っている。

サービス戦略

- Pharm-marketでは血圧や体重測定、医療アドバイスが出来る医師を配置。

今後の計画

- オンライン・ショップをさらに拡充していく。
- 今後5~7年のうちに薬局チェーンを現在の150カ所から300カ所に拡大する。
- 益々忙しくなっている消費者のニーズに合わせ、健康食品に限らず、パンや牛乳など一般の食品も扱うコンビニ機能を持った薬局を設けることを検討中。



Pharm-market店内での医療相談風景

販売促進活動

新店舗開設時に、商品カタログ配布、試飲・試供品進呈、血圧・血糖値測定、健康相談会を行うイベントを開催するなど、PR活動に力を入れている。また、Europharmaでは自社で月刊誌を発行し、商品の紹介や広告(製造元メーカーの広告掲載は有料)を兼ねた健康な生活促進の啓発活動を行っている。



PR活動の様子

ビジネスの概要 ③

競合他社

会社名	薬局チェーン店名
Emity LLP	Green Door
Medservice LLP	MS Help
Farmacom Impex LLP	Farmacom
Stomed-Stofarm LLP	Tsvetnaya
Romat LLP	Romat
Amanat LLP	Amanat
Zerde Group	Zerde Pharma
Zaman Pharm Retail LLP	Biosfera

※全て自社薬局チェーンを有する医薬品流通企業



人材の確保

薬剤師

十分な専門知識のある薬剤師確保のため、採用時に経歴のチェックと入社試験を厳格に行っている。

◆カザフスタンの薬剤師について

専門学校卒の一般薬剤師と医科大学卒の主任薬剤師の2種類がある。他社の薬局でも薬剤師を置いているが、そのほとんどは21～23歳の新卒生で専門知識が浅い。

◆医薬品関連業界における報酬待遇の状況

生産部門管理職の場合、月額2,000～4,000ドル。薬事関連法規やコンプライアンスの専門家も人材不足で、法規担当マネージャーの場合月額3,000～3,500ドル、コンプライアンス担当で月額3,000ドル以上も珍しくない。医薬品関連企業各社では、競って薬学の専門知識や医薬品業界での勤務経験、英語力のある人材に高額の待遇を提示するため、医薬品部門の給与水準は、ここ1年間で8～17%上昇している。



従業員研修制度

従業員向けに、接客サービス、経理や会計のIT研修を行っている。また、専門職を対象に、海外研修(フランス、ドイツ)なども実施している。



社会貢献活動

健康的なライフスタイルの啓発や、スポーツ等の各種イベントを開催している。



Europharma主催の自転車パレード
(2014年8月)

日本企業に対する期待



子供用紙おむつの売場

高品質で人気の日本製紙おむつは既に国内市場でも見られる。日本製品に対する評価や認知度は高まっており、現在ベビーブームのカザフスタンでは中所得層以上を対象の中心として、高品質の乳幼児用製品は高価なものでも有望とみられる。また、健康への意識の高まりから、サプリメントや予防医薬への需要が生まれつつあり、今後期待ができる商品分野となっている。Europharmaではさらに日本製品をラインアップに加えたいとしている。

JETRO

カザフスタンの医薬品市場概況

- 医薬品調達率 :〔輸入品〕90% 〔国産品〕10%
- 国内医薬品市場規模 :16億ドル(うち8億ドルは医療保険制度の補てん対象)
- 製薬メーカー数 :中小企業含め79社 (大手6社が総生産量の90%を占める)
※ただし、原材料は輸入に頼っており、80%を中国・インドから輸入している。
- 医薬品輸入額 :11億6,500ドル(主な輸入元・・・ドイツ、フランス、ロシア、インドなど)
輸出額 :2,056万ドル
輸入製品 :医薬品(81.8%)、血清、輸血用血液、ワクチン等
- 1人あたりの年間購買額 :83~86ドル(アルマトイ市・・・197ドル)

政府は医薬品の国内生産について現状の10%から30%へ引き上げることをめざしており、このためにはWHOの医薬品適正製造基準(GMP)に沿った医薬品を開発するため最新の技術を導入し、製造力を伸ばす環境を作ることが必要である。

カザフスタンは、ユーラシア経済連合が発足され、ロシアとカザフスタンが関税同盟に加盟をすれば、ロシアに比べ製造拠点設立コストが安いカザフスタンでの製造工場設立が外国メーカーにとって有利になると考えている。

処方箋医薬品とOTC医薬品

- 市場の医薬品のうち22%が処方箋なしのOTC医薬品、78%が処方箋医薬品である。処方箋医薬品は、国の医療費制度により購入額の44%は補てんを受けられ、(周辺国では12~13%)、血友病、癌、糖尿病、C型肝炎などの高額診療費を要する疾患や、小児疾患のいくつかについては、100%補てんされる。
- 処方箋なしで販売している店も多い中、Europharmaでは、処方箋を持たない客には処方薬を売らず、医師の診断を勧めることを徹底している。こうした取り組みは、カザフスタン消費者の薬を買う意識を変えていくものと思われる。

国内医薬品産業における主な課題

- ① 専門知識や技能のある人材の不足。
- ② 薬学知識・研究開発の遅れ。
- ③ 治験制度の未発達(政府は、先進国医薬品メーカーの協力を得て制度構築に取り組んでいる)。
- ④ 国土が広く人口が散在しているため、遠隔地では医薬品の入手が困難な地域も多く、輸送コスト等により都市部との商品価格に30~50%も格差が生じる。特に冬季は道路が雪で閉ざされ、商品を配送できない地域もある。
- ⑤ 偽造医薬品の流通。



多くの国内医薬品製造メーカーは、ユーラシア関税同盟発足後、ロシアメーカーとの価格競争の激化を懸念している。また、以下をはじめとする域外諸国メーカーがカザフスタンでの生産を狙って進出しており、こうしたM&Aや資本参加が増加するのではないかと考えている。

- PolPharma社(ポーランド) :国内メーカーJSC“Himpharm”社の株式51%を取得。欧州諸国への輸出を狙い、1億ドルを投じGMP基準に基づいた工場建設。
- Nobel社(トルコ) :Almaty pharm-fabricを買収。3,000万ドルを投資して既存工場の近代化を図ると共に、6,000万ドルを追加投資し、アルマトイの工業団地に新工場を建設。
- Globalfarm(国内メーカー) :株式の60%をトルコのABDI Ibrahim社に売却。

医薬品関連団体

医薬品関連団体は以下の通り。政策制度策定に参画しており、関連制度の立法にはこれら団体の承認を要する。

- Association for Support and Development of Pharmaceutical Activities
- Association of Importers of pharmaceutical products
- Association of International Pharmaceutical Manufacturers (AIPM)
- Association Med Pharm Industry of Kazakhstan

AIPMでは業界内での倫理基準を定めている。



JETRO

【免責事項】本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用ください。ジェトロでは、できるかぎり正確な情報の提供を心掛けておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロおよび執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。